



文化博物館だより

第 391 号

2012年 12月 9日

●企画展「発掘された明石の歴史展～明石の古墳Ⅱ～」

「発掘された明石の歴史展」は市内の発掘調査によって出土した資料を中心に取り上げ、そこから明らかにされた先人たちのくらしぶりを広く知ってもらう機会として開催しているもので、今年で 20 回目を迎えました。

今回はテーマを「明石の古墳Ⅱ」とし、昨年に引き続き明石市内および近隣の古墳時代後期の遺跡から出土した遺物を展示、紹介しています。古墳時代後期には、横穴式石室を持つ古墳が出現し、副葬品には埴輪・須恵器が含まれ、この須恵器を焼いた窯が赤根川金ヶ崎窯跡等から見つかっています。明石市内の後期古墳の代表格ともいえる寺山古墳の石見型埴輪・馬形埴輪・鳳凰象嵌などをはじめ、藤江中尾古墳・カゲユ池古墳の須恵器、赤根川金ヶ崎窯跡の角杯、東仲ノ町遺跡の丸木舟を利用した木棺などを展示しています。また、舞子古墳群出土の耳環・馬具、狩口台きつね塚古墳の馬具、高塚山古墳の線刻壁画(馬と家)など、当時の工芸技術の巧みさを物語るものも展示中です。古墳時代後期の明石の政治・社会のあり方に、想いを巡らせていただければ幸いです。

【会 期】平成 24 年 12 月 24 日(月・祝) まで好評開催中※ただし24日(月・祝)は閉館

【観 覧 料】大人 200 円、大高生 150 円、中小生 100 円

*20 名以上の団体は 2 割引 高年手帳等(65 歳以上)・障害者手帳提示にて半額

【場 所】明石市立文化博物館 1 階特別展示室

●あかし・小学校新聞チャンピオン

6 月 1 日(金)～10 月 31 日(水)の期間中、市内の小学生が自由な題材で“取材”して制作した新聞のコンテストである第 2 回「あかし・小学校新聞チャンピオン」に、昨年を上回る 413 作品の応募がありました。

数々の力作の中から最優秀賞(チャンピオン)、優秀賞、スcoop賞の各 1 作品が選ばれ、12 月 8 日(土)～26 日(水)まで当館 1 階ロビーで全作品を展示・公開しています。誰もが一度は作った「学校新聞」も、その時代や世相を反映した内容がみられ、現在の小学生が生活している、“今”を感じ取ることができます。

【展示期間】平成 24 年 12 月 8 日～26 日(水)

【場 所】明石市立文化博物館 1 階ロビー

【観 覧 料】無料



明石市立文化博物館

(兵庫県明石市上ノ丸 2 丁目 13-1 電話 078-918-5400)

【開館時間】午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分 (入館は閉館の 30 分前まで)

【交通案内】JR・山陽電鉄「明石」駅より北へ徒歩 5 分